

中小機構におけるベンチャー企業 支援事例



平成29年6月7日



独立行政法人 中小企業基盤整備機構 九州本部
くまもと大学連携インキュベータ
チーフインキュベーションマネージャー 堀 義 親

Agenda

1. 中小企業基盤整備機構について
2. 中小機構の支援メニューの紹介
3. 中小機構のインキュベータ
4. くまもと大学連携インキュベータについて
5. ベンチャー企業の支援事例

1. 中小企業基盤整備機構について



中小企業基盤整備機構（中小機構）について

- 中小機構は、中小企業の「創業・新事業展開」、「成長・発展」、「セーフティネット」といった中小企業政策全般にわたる総合的な支援・実施機関として平成16年7月に設立。
- 中小企業の多様な経営課題に対して、多様な支援ニーズや専門的な知見・経験等を活かしつつ、「国の政策課題」と「中小企業者の支援ニーズ」に総合的に対応する唯一の独立行政法人。

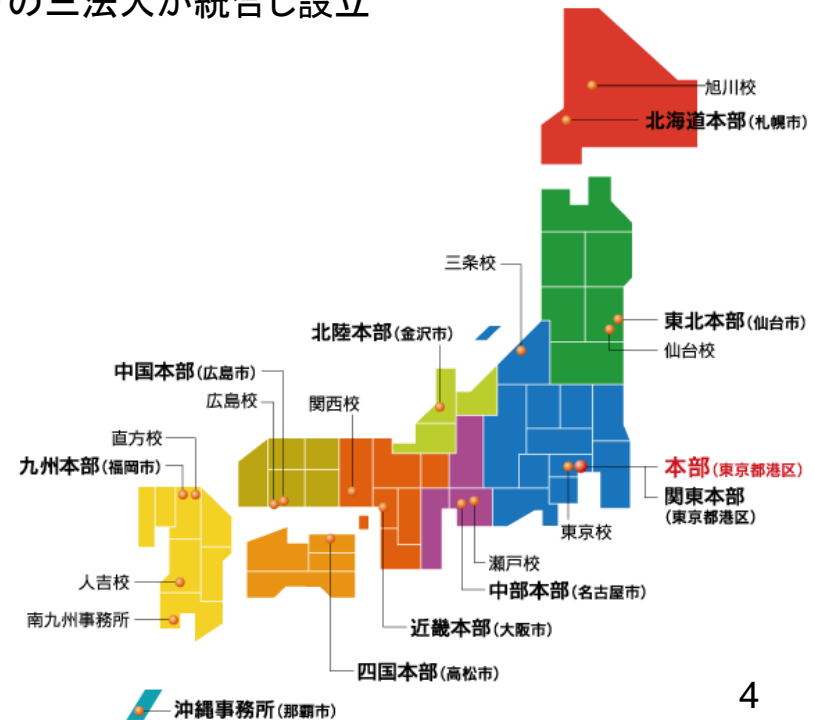
根拠法 独立行政法人中小企業基盤整備機構法（平成14年12月 法律第147号）
主務大臣 経済産業大臣（一部業務については財務省と共管）
設立年月日 平成16年7月1日

中小企業総合事業団（信用保険部門を除く）、地域振興整備公団（地方都市開発整備等業務を除く）、産業基盤整備基金（省エネ・リサイクル分を除く）の三法人が統合し設立

代表者 理事長 高田坦史
役職員数 役員13名、職員764名（29年4月1日現在）
本部 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

地域本部等 北海道本部、東北本部、関東本部
 北陸本部、中部本部、近畿本部、
 中国本部、四国本部
九州本部（福岡市）
 沖縄事務所（9地域本部1事務所）

中小企業大学校 旭川校、仙台校、三条校、東京校
 瀬戸校、関西校、広島校、**直方校**
人吉校



中小機構の事業概要

中小企業基盤整備機構の事業概要

海外展開支援

- ・海外現地調査
- ・海外見本市出展支援

被災地支援

- ・仮設店舗・工場整備
- ・復興支援アドバイザー

企業再生支援

- ・再生支援協議会支援
- ・再生ファンド組成

地域資源、農商工連携、 新連携支援

- ・事業計画の策定支援
- ・事業化に向けた支援

事業承継・引継ぎ支援

- ・相談、情報提供、後継者研修
- ・事業引継ぎ支援全国本部

中小機構

ベンチャー支援

- ・起業家と投資家のマッチング
- ・インキュベーション施設

地域振興

- ・商店街整備
- ・応援ファンド

支援機関の支援機能の 向上

- ・よろず支援拠点全国本部

販路開拓

- ・新価値創造展
- ・販路コーディネート事業
- ・J Good Tech(BtoB)
- ・e-コマース(BtoC)

〈基本機能〉

専門家派遣

登録専門家数 4,000人

人材育成

中小企業大学校 全国9校

共済事業

小規模企業共済 123万社
倒産防止共済 35万社

出資等

ファンド組成数 180件
高度化融資残高 6,500億円

2. 中小機構の支援メニュー



中小機構の支援メニュー

起業・創業期 新事業展開

○インキュベーション事業

全国32カ所に施設を展開。常駐するインキュベーションマネージャーによる経営相談をはじめ、産学官連携やネットワーク構築もサポートしています。

○マッチング機会の提供

新事業の創出に向けて、人とつながり、学び、アイデアを磨くための東京駅前ビジネス創発拠点。中小企業や起業、地域活性化に関心のある方々向けに様々なイベントを開催しています。

(TIP*S、新価値創造展)

○新事業展開支援

地域資源活用・農商工連携・新連携
地域資源を活用した「地域資源活用」、中小企業者と農林漁業者が連携する「農商工連携」、異分野の中小企業が連携する「新連携」。計画づくりから事業化まで新事業展開をサポートしています。

ものづくり(サポイン)支援

成長期

○販路開拓支援

展示会や商談会などのリアルな支援にICTを組み合わせ、2つのアプローチから中小企業の販路開拓を後押し。また、eコマースを活用した販路拡大もサポートしています。

○Web・マッチング

ものづくり企業と国内外の企業をつなぐマッチングサイト「**J-GoodTech**」、伝統技術や素材を活かした創り手とバイヤーを結ぶ「Rin crossing」を通じ、ウェブ上でもビジネス・マッチングの機会を創出しています。

○海外展開支援

JETROや海外支援機関などと連携し、海外展開をサポート。専門家派遣やビジネス・マッチングをはじめ、現地調査などのバックアップも行っています。

成熟期

○事業承継・事業引継ぎ

中小企業経営者や支援機関向けのセミナーを開催。「中小企業事業引継ぎ支援全国本部」として、データベースを活用した事業引継ぎに関するサポートを行っています。

○事業再生

「中小企業再生支援全国本部」として、中小企業再生を促進させるため、各地の再生支援協議会に対し、様々なサポートを行っています。

○中心市街地活性化

セミナーの開催や専門家派遣、情報提供を、中心市街地活性化協議会などに対して行っています。

○高度化事業

経営基盤強化のために、施設整備や中小企業を支援する事業に対して助言や融資を行う他、企業連携支援アドバイザーの派遣も行っています。

ステージ共通

○経営相談

電話・インターネット・対面窓口を通じて無料で経営相談

○専門家派遣

**専門家継続派遣事業
経営実務支援事業**

約4,000名の専門家が、課題解決に向けてアドバイスを提供

○人材育成

中小企業大学校や各種セミナーを通して、人材育成をサポート
(人吉校、直方校)

○情報提供

経営に役立つイベントや助成金情報などを、多彩なツールで発信
(J-Net21)

○資金調達

起業・事業拡大・事業再生をファンドを通じた間接出資でサポート
(ファンド in Tokyo)
(ファンド in 九州)
ファンド出資事業

○セーフティーネット

小規模共催
経営セーフティー共催

経営相談・専門家の派遣

1. 窓口相談（無料・予約制）

相談窓口は、各分野の専門家を配置しており、マーケティング、人事、財務、法務、技術開発など幅広い分野の経営課題について相談対応

2. メール相談（無料）

メールでの相談も受け付け、いただいたご相談は原則として受付の翌日から3営業日以内に専門家による回答をお返し。

3. 経営相談ホットライン（通話料有料）

平日（月曜～金曜 午前9時～午後5時）
全国どこからかけても最寄の地域本部につながる

4. よろず支援拠点

中小企業・小規模企業の売上拡大、経営改善などの経営上のあらゆるお悩みの相談に対応

1. 専門家継続派遣事業

【対象者】経営戦略の明確化や生産性向上などの経営全般の課題解決を目指す企業

【支援期間】6か月以内、または6か月超～1年で平均月2～3回

【派遣専門家】中小企業診断士、公認会計士、司法書士、弁理士など

2. 経営実務支援事業

【対象者】特定の経営課題解決のため実務面での支援を必要とする中小企業

【支援期間】5か月以内、派遣回数は10回以内

【派遣専門家】大手企業、中堅企業等で10年以上の実務経験を有する人材で特定分野のスペシャリスト

3. 戦略的CIO育成支援事業

【対象者】部門間、企業間の連携などの比較的高度なITシステムの導入により、経営課題の解決・経営改革を計画的に実施しようとする意欲ある中小企業

【支援期間】3か月～1年間程度

【派遣専門家】CIO経験者、中小企業診断士などIT経営に関し知見と実績を有するもの

販路開拓の支援

1. 販路開拓コーディネート事業

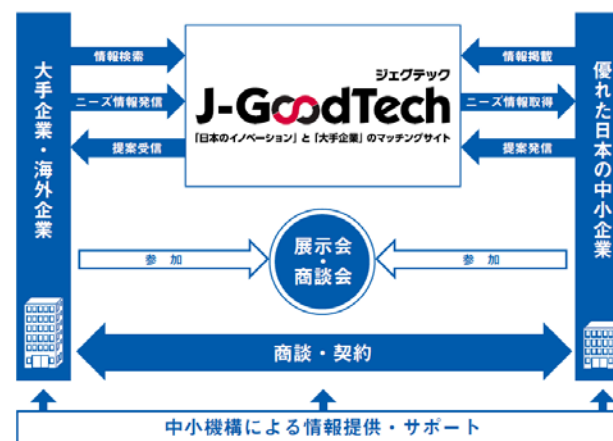
【対象者】 製品・サービスに新規性があり、首都圏または近畿圏市場の販路開拓を希望する中小・ベンチャー企業
※中小機構または各県中小企業支援センターいずれかによる推薦が必要となります。

【支援内容】 優れた新商品・新サービスを持つ中小企業を対象に、マーケティング企画の策定及び首都圏・近畿圏におけるテストマーケティング活動を通じて、新たな市場開拓の土台づくりを支援します。

2. ビジネスマッチングサイト 「J-Good Tech (ジェグテック)」

ジェグテックは、優れた技術や製品を有する日本の中小企業を国内大手企業や海外企業につなぐマッチングサイト。ウェブ上での情報発信、情報交換に加え、商談会等の開催や専門家による仲介サポートも実施することで効率的・効果的なマッチングを実現し、新たな取引や技術提携などにつなげていきます。

【募集対象企業】 優れた技術・製品を有し、販路開拓に意欲的なものづくり中小企業。



3. 展示会出展支援

■新価値創造展の出展支援

中小・ベンチャー企業が開発した新商品・新サービス・新技術を一堂に会し、展示・紹介する「新価値創造展」(中小機構主催)。東京及び大阪で開催される日本最大級のマッチングイベントへの出展をサポートし、販路開拓、業務提携など、ビジネスマッチングの機会を提供します。

■九州地域における各種展示会への出展支援

食品、モノづくりなど、様々なテーマで開催されるマッチングイベント、展示会への出展をサポートします。

出展:「中小企業を日本の原動力に」(中小機構九州)



新価値創造展

新事業展開の支援

1. 新連携事業

異分野の中小企業が連携して行う新事業展開について、事業計画策定から販路開拓までトータルで支援

農商工連携、地域資源活用事業、新連携には、それぞれ根拠となる法律があり、事業計画の認定を受けることにより、さまざまな支援策を受けることができます。中小機構は、事業計画作成から認定後の事業化達成までトータルサポートします。

2. 地域資源活用事業

農林水産物、産地の技術、観光資源等の地域資源を活用した新商品・新サービスの開発、生産について、事業計画から販路開拓までトータルで支援

3. 農商工連携事業

農林漁業者と商工業者等が連携して行う新商品・新サービスの開発、生産について、事業計画から販路開拓までトータルで支援



4. 戦略的基盤技術高度化事業（ものづくり支援）

戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）に挑戦する中小企業者に対し、以下の支援を実施

- 研究開発計画・提案書作成時のアドバイス
- 研究開発推進・事業化に向けたアドバイス

資金調達支援

1 ファンド in 九州・ファンド in Tokyo

■対象者

九州（山口を含む）・沖縄域内の成長性が高い中小・ベンチャー企業であって、ベンチャーキャピタルからの資金調達（投資）を希望する方（※参加にあたっては、審査があります）

ファンド in Tokyoは、全国の中小・ベンチャー企業を対象として東京にて開催。

■支援内容

ベンチャーキャピタルに対する事業計画のプレゼンテーションと個別商談の場である「ファンド in 九州」、「ファンド in Tokyo」を開催。中小機構が事業計画作成やプレゼンテーションのアドバイスをを行い、必要に応じて他の支援メニューによるアフターフォローを行います。

2 ファンド出資事業

民間投資会社が運営する投資ファンド（投資事業有限責任組合）に対して、資金を供給することで、ファンド組成を促進し、ベンチャー企業や中小企業への投資機会の拡大を図っています。

起業支援ファンド

アーリーステージ(設立5年未満)のベンチャー企業を重点的に支援

中小企業成長支援ファンド

新事業展開、事業の再編、承継等により新たな成長・発展を目指す中小企業を幅広く支援

中小企業再生ファンド

中小企業再生支援協議会と連携し、再生に取り組む中小企業を支援

3. 中小機構のインキュベータ



中小機構のインキュベーション施設(32施設)



- **大学連携型起業家育成施設**
産学官連携による研究開発を促進し、新事業創出に資する大学等と連携した起業家育成施設の運営を行います。
- **新事業創出型事業施設**
地域における新たな事業の創出に取り組む事業者の用に供する施設の運営を行います。

九州

九州本部／支援拠点サポート課

〒812-0038
福岡県福岡市博多区祇園町4-2 サムティ博多祇園 BLDG.
Tel.092-263-0302

29 **福岡システムLSI総合開発センター**
〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜3-8-33
(財)福岡県産業・科学技術振興財団 先端半導体部
Tel.092-832-7151 Fax.092-832-7152

30 **クリエイション・コア福岡**
〒818-0041 福岡県筑紫野市上古賀3-2-16
Tel.092-929-2218 Fax.092-929-2238

31 **くまもと大学連携インキュベータ**
〒860-0812 熊本県熊本市中央区南熊本3-14-3
Tel.096-364-5115 Fax.096-364-5116

32 **ながさき出島インキュベータ (D-FLAG)**
〒850-0862 長崎県長崎市出島町1-43
Tel.095-811-6800 Fax.095-811-6801

インキュベーション施設による支援

中小機構のインキュベーション施設では、ベンチャー企業や新たに事業を展開する中小企業に対し、事業化や企業成長に向けた支援を行います。

ソフト面での支援

- インキュベーションマネージャー（IM）が施設に常駐
- 機構の支援メニューをフルに活用し、地域の大学など支援機関と連携して、IMが事業化をコーディネート。
- 地域の企業に対し、セミナーや経営相談会などを開催し、情報提供、交流機会の場を提供。

ハード面での支援

- 事業を行うために必要な設備が整った居室を賃貸で提供。
【主な居室タイプ】
オフィスタイプ、実験研究室タイプ
【共用設備】
無料で使用できる共用の会議室や商談室
24時間の機械警備
(施設によって利用内容が異なります)

新事業創出型事業施設

地域の産業集積を活用し、新たな商品開発、新事業の成長加速を図り、中小企業事業者を支援



クリエイション・コア福岡
(福岡県筑紫野市)

大学連携型起業家育成施設

大学等の革新的な技術シーズ、アイデアを活用し、ベンチャー・新事業の創出、中小企業事業者の成長・事業化を支援



くまもと大学連携インキュベータ
(熊本市)



ながさき出島インキュベータ
(長崎市)

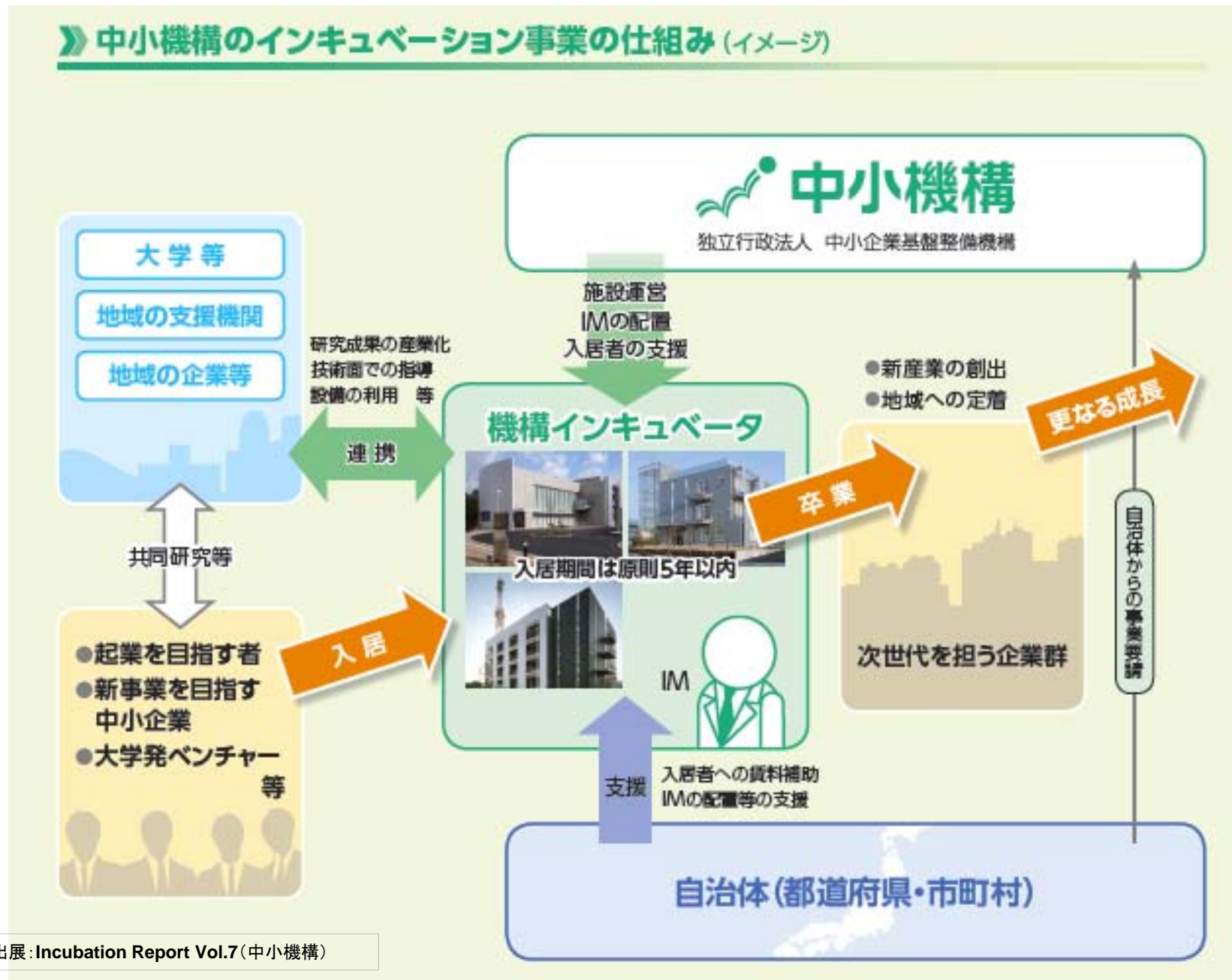


福岡システムLSI総合開発センター
(福岡市)

試作開発型事業促進施設

ものづくり企業への新たな試作品やソフトウェア開発を行う事業スペースを賃貸で施設提供
テクノフロンティア熊本 (熊本県合志市)

中小機構のインキュベーション事業の仕組み



4. くまもと大学連携インキュベータについて



設立経緯

平成16年

- 8月23日 熊本県・熊本市による事業要請
- 8月26日 事業採択、熊本県・熊本市と事業に係る覚書締結
- 12月17日 熊本大学と連携に係る基本合意書締結

平成17年

- 6月 8日 建設工事着工
- 11月28日 入居者公募

平成18年

- 1月26日 竣工
- 2月14日 施設オープン、入居開始
- 3月30日 開所式

●ビジョン

熊本県における **バイオ分野を中心とした大学発ベンチャー創出の拠点施設**

●ミッション

バイオテクノロジーを始めとした大学等の革新的な技術シーズ、アイデアを活用した高い成長が見込まれるベンチャー・新事業の創出・成長を促進することにより、熊本地域の経済活性化を実現するとともに、熊本地域のイノベーターたちの成功への意識を高め、チャレンジングなベンチャーの創出から成長までの循環を支援する。

建物の外観・立地(アクセス)



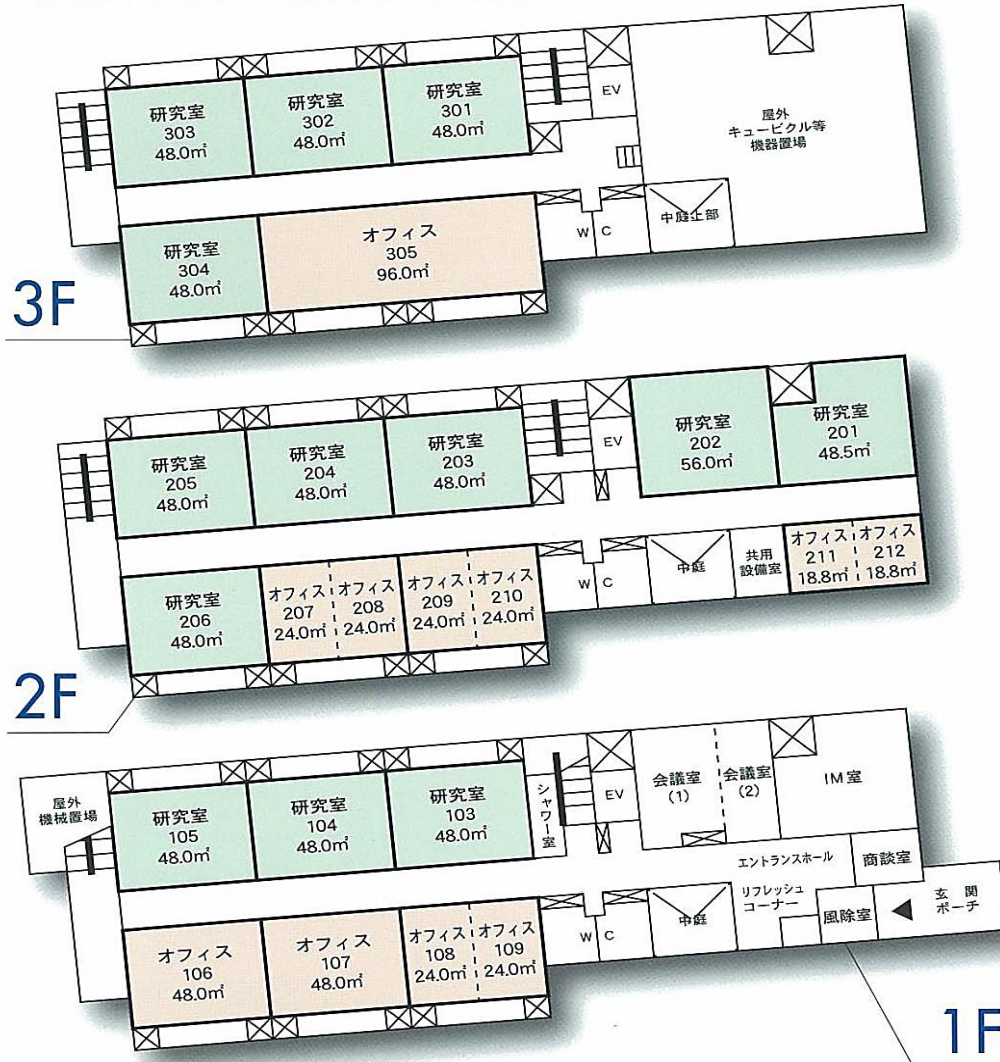
J R南熊本駅の隣り



施設レイアウト

研究室タイプ、オフィスタイプの居室を用意しています。
 共用スペースとして、会議室、商談室、リフレッシュコーナー等が利用できます。

● 研究室(48~56㎡)13室 ● オフィス(18.8~96㎡)11室



研究室(48㎡)



オフィス(24㎡)



[共用スペース]

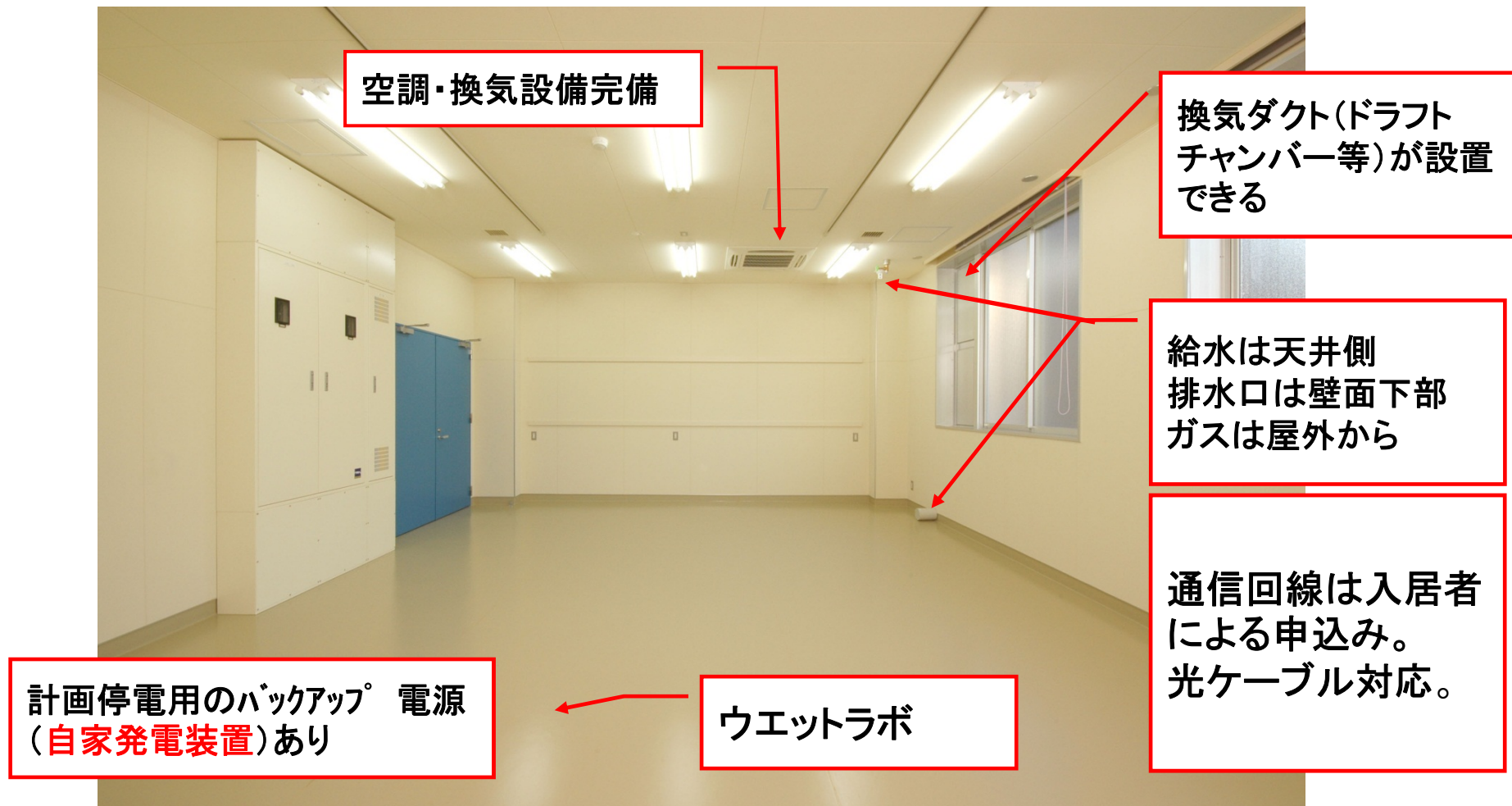
会議室



リフレッシュコーナー



研究室タイプイメージ (床面積48 ~ 56㎡程度) (13室)



- 天井高が**3.0m**程度、床荷重(0.5t/㎡程度)
- P2レベルの遺伝子組み換え実験が可能
- 排水は**動物排水槽(消毒処理)→中和処理槽(PH管理)→公共下水道へ**

オフィスタイプイメージ (床面積18~48㎡程度) (11室)



48㎡

通信回線は入居者申込み
光ケーブル対応

- 天井高が**3.0m**程度で、床荷重(0.3 t/㎡)を設定しております。
- 床は床下にコンセント等が自由に配線できるように**フリーアクセスフロア**を採用しております。



24㎡

くまもと大学連携インキュベータの入居者支援体制

■ インキュベーションマネージャー(IM)の体制

IM:3名(常勤2名、非常勤1名)、アシスタント:1名

■ 施設運営に係る連携機関

熊本県……産業支援課(新産業支援班)

熊本市……産業振興課(工業振興班)

熊本大学……熊本創生推進機構イノベーション推進センター(知的財産部門・知財マネージャー)
マーケティング推進部(社会連携課)

くまもと産業支援財団……企業支援部(事業革新支援室、産学連携推進室)

熊本県起業化支援センター(熊本県・地元金融機関によるベンチャー向けファンド)

■ 主な支援項目等

- ・事業計画ビジネスプラン作成
- ・公的助成制度の紹介
- ・資金調達関連
- ・人材紹介
- ・大学との共同研究の斡旋
- ・技術指導・相談
- ・特許・知的財産関連
- ・会社設立事務関連
- ・法務関連
- ・経理・財務関連

- ・生産管理・品質管理
- ・広告・宣伝関連
- ・販路開拓・マーケティング
- ・業務提携関連
- ・交流会など入居者ネットワーク
- ・輸出入・海外進出関連
- ・株式公開関連
- ・精神的な相談・サポート
- ・その他

事業計画書

日常的支援
定期的相談会

目標達成

卒業

5. ベンチャー企業の支援事例



支援事例 ①

1. 会社概要

会社名: 創薬・バイオベンチャー企業

本社: 熊本県熊本市中央区南熊本3-13-3 くまもと大学連携インキュベータ
東京事務所: 東京都千代田区丸の内3丁目
設立年月: 平成26年11月
入居日: 平成27年8月1日

会社沿革

代表者は、大学卒業後、大手製薬会社に入社、入社後MR(医療情報担当者)の業務などに従事。平成26年に製薬会社を退職し、同年11月同社を設立、代表取締役就任。創業当初は、本社を取締役でもある弁護士の法律事務所内(東京都千代田区丸の内)に置いた。その後、熊本大学との共同研究が本格化してきたので、くまもと大学連携インキュベータに入居し本社を当インキュベータに移転した。現在、2室(1室: 事務所、1室: 研究室)にて研究開発を進めている。

事業内容 : 医薬品、動物用医薬品、医療用機器開発

現在、不妊外来を設けている医療機関向けの血中TAGE値の測定(測定受託サービス)を行っている。この技術をより発展させて「尿中TAGE値測定キット(OTC検査薬・一般用医薬品)」の開発を進めている。また、このTAGE測定技術(ノウハウ)は、家畜類の受胎率を飛躍的に向上させる分野にも応用できるもので、今後の広がりが期待できる。一方で、TAGE値の抑制作用のあるマンネンタケ科の霊芝や魚類から抽出されたコラーゲン由来のトリペプチド(グリ・コラーゲン)を健康食品として販売している。

図2 受胎率向上技術の研究開発

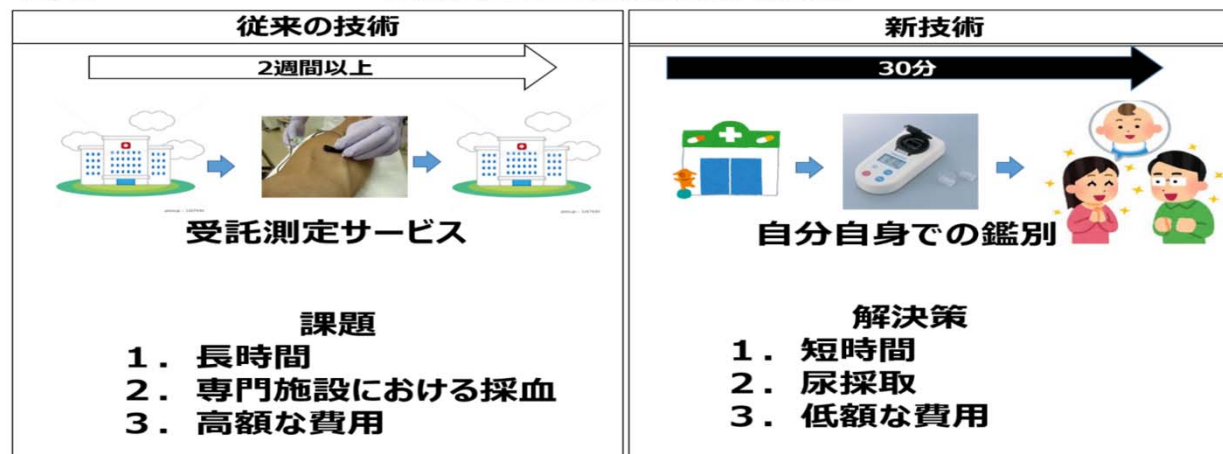


図8. 簡易キット化(想像)



支援事例 ①

2. 課題

・経営戦略の方向性の明確化

3分野で研究開発を進めていたが、それぞれの研究開発の進捗状況に差が出てきたにもかかわらず、優先順位をつけることなく研究開発を進めていたため、本当に必要な部門への経営資源の集中が行われていなかった。

・資金調達

増資による資金調達を進めていたが、研究開発の加速、研究員の増員、補助金採択などにより、新たな運転資金の調達が必要となっていた。

・経営管理体制の確立

顧問税理士が、東京であったため、十分な連携が取れず経理事務がスムーズに進んでいなかった。また、総務・経理の事務処理担当者が不在で全ての事務処理業務が代表者に集中し、会社の運営管理に苦勞されていた。

3. 支援内容

・経営戦略の方向性の明確化

中小機構本部ハンズオン支援室の「出張経営相談(専門家継続派遣事業)(全4回:各4時間)」を活用して、事業計画の見直しとブラッシュアップを行った。また、研究開発内容に優先順位をつけ当面注力する分野の明確化、及び新たな分野への取り組み(進出)を検討した。

・製品開発(補助金申請支援)

夢挑戦ファンド(県財団)、新製品・新技術研究開発助成金(熊本市)への申請・採択に向けた支援(公募情報の提供、申請書作成支援、審査会プレゼン予行演習など)、サポイン申請支援(中小機構九州本部の専門家による申請書のブラッシュアップ支援)

・資金調達

ベンチャーファンドの紹介、「ファンドin九州」へのエントリー、研究開発資金・運転資金等の調達に係る相談対応と金融機関への橋渡し

・経営管理体制の確立

経理事務処理の迅速化と明確化を図るため適任な税理士の紹介、総務担当新入社員の教育研修のフォロー(新入社員研修講座の紹介と受講後のフォロー)

4. 支援結果・進捗状況

・経営戦略の方向性の明確化

経営戦略が明確になり、柱となる研究開発に経営資源を集中できるようになった。

・資金調達

ベンチャーキャピタルとは継続して接触。金融機関からは一定程度の資金調達ができた。また、NEDOの認定VCからの投資を受けた企業向けの「研究開発型ベンチャー支援事業・助成金事業」への申請を進めている。「ファンドin九州」「ファンドin Tokyo」での発表予定。

・経営管理体制の確立

新しい顧問税理士とのスムーズな意思疎通、また正確な経理処理ができるようになった。新入社員への意識付けは支援を継続。

支援事例 ②

1. 会社概要

会社名: 精密機械の開発・製造企業

本社: 熊本県熊本市中央区本荘
設立年月: 平成24年1月(法人設立)
入居日: 平成23年10月28日 卒業: 平成28年10月27日

会社沿革

代表者は、大学卒業後、大手機械メーカーに勤務し、半導体製造装置、半導体検査装置など精密機械の設計・開発に携わってきた。その後、個人事業者として精密機械の開発・製造等を行ってきたが、受注の増加に伴い、作業スペース(自宅作業場)が手狭になったため、当インキュベータに入居を申し込まれた。入居時は、個人事業者であったが、平成24年1月に株式会社として法人化した。入居後、精密機械開発にかかる保有技術の高さから受注も大きく伸びていった。また、従業員も代表者1人から卒業時には6名となっており、入居居室も24㎡1室から、48㎡2室(合計面積:96㎡)となった。現在は、当インキュベータ近隣に事務所・工場を設置している。

事業内容: 一般産業用生産設備機械の開発・設計・製造・販売、技術コンサルタント

事業の特徴

代表者は、半導体関連設備の開発設計に約30年ほど携わっている。この前工程、組立、選別、検査の各装置開発業務に携わった経験により生産プロセス、フロー各装置の技術的なツボの理解、装置の技術的リスク等も熟知している技術者で幅広い分野の精密機械の開発・設計・製造ができる技術を保有している。この保有技術の高さにより半導体以外の設備機器(オートバイ、自動車、医療、住宅設備、農業等の設備)の開発も行っており、ものづくり現場の技術者の空洞化が叫ばれる中、貴重な人材(技術者)となっている。



補助金を活用して開発した「救急絆創膏の
ハイドロジェル材巻きシートのカット加工装置」



卒業後の新社屋

支援事例 ②

2. 課題

- ・**企業の認知度、及び信用力の向上**
高度な技術力を保有しているものの、企業の認知度が低く、いい案件の受注が難しい。
- ・**個人事業者からの脱却(法人化)**
個人事業者(個人生業)から脱却し、近代的な経営体質の構築が急務
- ・**自社製品の開発**
下請け体質からの脱却のための自社商品の開発とその開発のための資金調達

3. 支援内容

- ・**企業の認知度、及び信用力の向上**
熊本県、熊本市担当者、その他関係機関への企業情報の発信、各種展示会での企業紹介
- ・**法人設立への支援(個人事業者からの脱却)**
事業コンセプトの明確化、定款作成・公証人役場の認証の仕方等についてアドバイス
法人化に伴う経理事務の習得支援(法人経理の導入支援)(顧問税理士の紹介、及び代表者夫人の経理処理能力の習得指導)
- ・**自社製品の開発(補助金申請支援)**
新製品開発のための助成金(新製品・新技術研究開発助成金:熊本市。小規模企業持続化補助金など)へ申請支援(公募情報の提供、申請書作成支援、プレゼン予行演習など)
- ・**入居企業間連携支援(マッチング支援)**
各入居企業が持っている技術(ノウハウ)の活用のための橋渡し(コーディネート)。入居企業間のマッチングの場の提供。

4. 支援結果・進捗状況

- ・**法人設立への支援(個人事業者からの脱却)**
個人事業者から会社としての経営に移行(代表者自身に経営者としての自覚)、代表者夫人が経理事務処理の知識を習得し、経理総務全般の管理・事務処理ができる能力を習得。
- ・**自社製品の開発(補助金申請支援)**
補助金採択による新製品(試作機の開発)ができた。また、補助金申請書のブラッシュアップにより、申請書作成のノウハウを取得。特に代表者夫人が申請書を書くノウハウを習得。
- ・**入居企業間連携支援(マッチング支援)**
入居企業同志の技術の橋渡し((コーディネート)を行ったことで、入居企業2社からの受注に繋がった。(バイオ系企業の発芽大豆への水補給機器の納入。半導体検査装置メーカーへの部品機の継続納入)

販路開拓支援(展示会インキュベーションブースへの出展支援)



(パシフィコ横浜)

新価値創造展 (東京ビッグサイト)

出展企業紹介 Introduction of Exhibitors



Booth 01 抗体医薬開発パートナー

(株)A-CLIP研究所
A-CLIP Institute

千葉県千葉市美浜区アスカ 入居企業

〒260-0856 千葉県千葉市美浜区美浜1-8-15
Chiba 260-0856 Inohara Innovation Plaza, 1-8-15 Inohara, Chuoh Ward, Chiba City, Chiba 260-0856, JAPAN
☎ 043-221-0851 ☞ <http://www.a-clip.jp/>

国立感染症研究所、千葉大学医学研究科での「感染症および炎症制御」研究実績を生かし、「感染症、血管炎、炎症のバイオマーカーの簡易検査キット開発・販売および【抗体医薬】の開発」を推進しています。また、欧米およびアジアとの連携の実績もあります。ぜひパートナーとして開発をしませんか。

I worked in NIID and as Prof. in Chiba Univ. Gra. Sch. of Med. Based on my academic activities, our company was established in April, 2012, then we started developing ANCA kit for vasculitis diagnosis and also antibody drug for vasculitis and inflammation diseases. In addition, a FU-kit for influenza virus detection has been established. Please make a partnership with our company. Thank you.

ワンマーズ商事(株)との
ANCAキットの開発実績



Booth 02 シルクフィブロインを使用した商品共同開発

(株)アーダン
Adan Co.,Ltd.

くまもと大学連携インキュベーション 入居企業

〒860-0812 熊本県熊本市中央区南隈3-14-138 くまもと大学連携インキュベータ 206
Kumamoto-Sigūku Park Building 206, 3-14-138 Minami-Kumamoto, Chuoh Ward, Kumamoto City, Kumamoto 860-0812, JAPAN
☎ 096-288-4604 ☞ <http://adan.co.jp>

絹(シルク)を主原料としたスキンケア商品、医薬部外品の製造販売を行う。生体親和性が高く強度にも優れ、潤滑保湿性、抗菌作用を有すシルクは生体再生医療素材としても注目されている。国内外の研究機関においてシルクがアンチエイジングや皮膚再生促進に有効であると評価されたことから、昨年鹿児島大学とともて特許を出願。シルク高配合の高機能化粧品や医薬部外品素材への応用にむけて研究開発を行っている。



Silk is drawing attention as a material for regenerative medicine with its high biocompatibility, strength, anti-bacterial action and properties to control temperature and humidity. We are continuously undertaking research and development to apply new technology to rich-in-silk highly functional cosmetics and quasi-drug materials.

Booth 03 細胞工学、再生医療関連および微生物関連の研究開発など

(株)AFIテクノロジー
AFI Corporation

神戸市東灘区南長瀬センター (HI-DEC) 入居企業

〒650-0047 兵庫県神戸市東灘区南長瀬6-7-4 神戸市東灘区南長瀬センター (HI-DEC)204号室
Hi-DEC 604, 6-7-4 Minatogama-minamimachi, Chuoh Ward, Kobe City, Hyogo 650-0047, JAPAN
☎ 078-335-8809 ☞ <http://www.afi.co.jp/>

弊社はマイクロチップ技術で食品検査・臨床検査・バイオ研究に貢献することを目的に、革新的な細胞・細菌の分離分析デバイスに関する研究開発を、ワンチップ統合型デバイスの普及を目指しております。独自に開発したマイクロデバイスは、電気的な作用で目的細胞を非接触かつ非破壊で分離することができます。また、非接触で生きた細胞を選択的に分離・濃縮回収可能であることから食品検査向けにも期待されております。



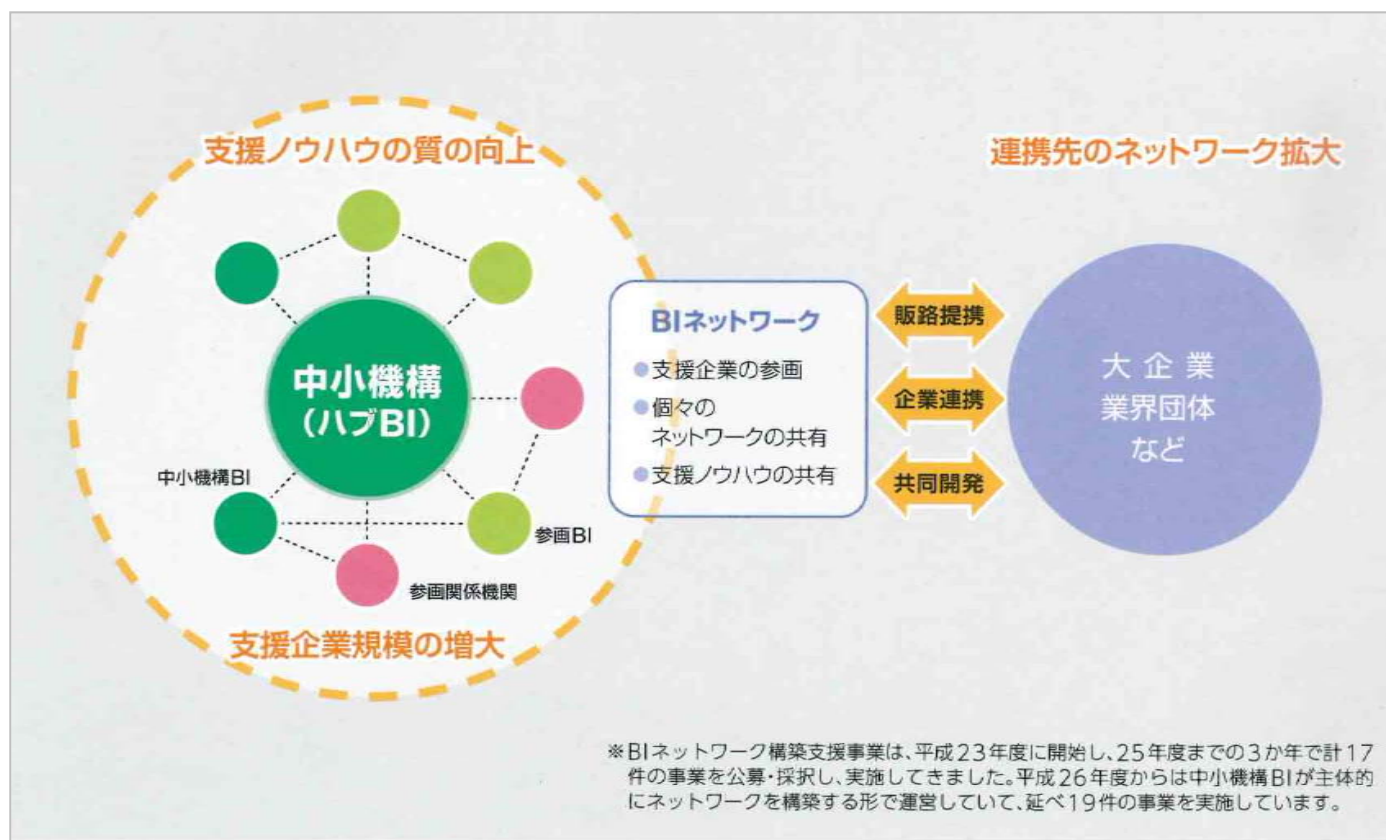
AFI Corporation is specialized in manufacturing innovative and high quality of one chip device, and contributes to the area of Foods inspection, Clinical test and Bio research. Our one-chip device is possible to separate the target cells in a non-labeled and non-invasive. And it enables to separate the cell for which a separation was difficult in the past.



BIネットワーク構築支援事業

BI(ビジネスインキュベータ)ネットワーク構築支援事業とは、中小企業の支援に関わる複数のBIと関係機関(支援機関、金融機関等)と中小機構BIが、企業間マッチングや販路開拓などをテーマにし、広域的・継続的な支援の連携スキームおよびネットワークの構築を促進する事業です。

地域や業種などの特定の共通点をもとにBIネットワークが構築されることにより、支援企業に対し企業間マッチングや販路開拓などの支援を効果的に、また規模を拡大して提供することが可能になります。中小機構ではこういったネットワークを広げていくことで、中小企業が新事業に取り組みやすい環境づくりを行うとともに、支援ノウハウの共有や質の向上に取り組んでいます。



(BIネットワーク構築支援事業)九州ビジネスインキュベーション・ネットワーク構築ワークショップ

- ・九州各県のIM、支援機関などが参加するワークショップ
- ・九州各県のIMが支援する5社の企業の方々にマッチングの場を提供(販路開拓を目的に自社の事業紹介)



九州ビジネスインキュベーション・ネットワーク構築 ワークショップ

(中小機構・BIネットワーク構築支援事業)

日時: 平成29年2月21日(火) 12:00~17:30
会場: 熊本県国際交流センター4階第3会議室(熊本県中央区正和町4-18)
主催: 独立行政法人中小企業基盤整備機構九州本部
共催: 九州ビジネスインキュベーションプラザ

■第1部
開催挨拶:(預)中小企業基盤整備機構九州本部支援拠点サポート課課長 向山忠宏
来賓挨拶:九州経済産業局 地域経済部 新産業戦略課長 平田 実
基調講演①(12:10~14:10)
 テーマ: 衣服生産のインベーション~服を作りたいを叶える衣服生産プラットフォーム~(仮題)
講師: シタテル株式会社 代表取締役 河野美和氏
基調講演②(14:15~15:00)
 テーマ: 「M研修17年と我が国BI」
講師: 一般社団法人日本ビジネスインキュベーション協会(JBIA)会長 星野敏氏

■第2部
企業プレゼンテーション(15:10~17:30)
 九州各県ビジネスインキュベータの入居企業・支援企業5社による事業紹介
 意見交換および名刺交換会

■交流会(18:00~)
 会場の近隣にて交流会を開催(会費:4500円程度)

シタテル社: 会社概要

国内初の衣服生産のクラウドソーシングサービス「sitateru」を提供する。

全国の縫製工場における技術やノウハウなどのデータ管理と、本拠に集約した専門コンシエージュによる生産サポートにより「短納期・高品質・小ロット」の生産を実現。自由に服をつくることのできるような衣服生産の改革を施し、これまで以上に高次元の需要を捉えてきたファッションの未来、在り方を究める新しい「衣」インフラを構築。

■問い合わせ先
 (注)中小企業基盤整備機構九州本部(九州大学産学連携インキュベータ)
 (担当: 塚本 由美 氏)
 〒850-0812 熊本県中央区南町3-14-3
 TEL:096-304-5115 FAX:096-304-5115 E-Mail:tsukamoto@sitateru.jp

